

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和4年度）2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	3	8	水	13:00	15:00	新町新公園用地	8
活動名称	つるほっとプロジェクト					報告者：小澤	

<活動目的>

つるほっとプロジェクトは市の健康長寿課、社会福祉協議会が高齢者向けのベンチを設置するプロジェクトで、ベンチの名前やコンセプトは福祉教育として西中学生から募集をした。そこで提案された各種のベンチ案のうち、1つを西中に近い一本松7号公園に設置し、生徒の発案のベンチを卒業記念に兼ねて地域の市民活動団体（当クラブ）と一緒に製作し、思い出づくりとして取り組んだ。

<主な活動内容>

1. 森の維持活動で伐採された樹木を材料にする。 2/23 太田ヶ谷で伐採
2. 板材を購入し、ベンチ部品の製作 3/4 シルバー倉庫で加工、塗装
3. 西中付近の新公園予定地にベンチ設置 3/8 一本松7号公園予定地

※ ベンチの中心に当クラブで育成している小彼岸桜を植樹

当日は、14:00～15:00の1時間でベンチを製作しなければならないことから、配置位置及びベンチ設置箇所を事前に準備した。生徒には、ベンチの上板の設置作業に参加してもらう事とした。生徒は電動ドライバーの扱いが初めての人が多く、作業に手間取る人もいた。準備が出来ていたなので、なんとか1時間の時間内で、完了することが出来た。

<課題・評価>

想定は、ベンチ案を提案した生徒が参加して、出来上がったベンチを見て、喜んでくれることを期待していましたが、残念ながら、参加した生徒は17(?)名であり、その内、ベンチプロジェクトに参加した生徒は3名程度で、多くの生徒は提案した案との関係も理解できていない様で、先生に言われたから参加したという印象でした。

西中としては、地域の市民との連携の活動を生徒に体験させたいとの意向でしたが、その思いが伝わったとは言いがたい印象でした。

全体のプログラムについて、先生との事前打ち合わせが不十分であったと反省しています。今後、学校との連携活動については、私たちの活動の趣旨、学校との連携活動の意味と役割など事前打ち合わせをした上で実施していきたいと思えます。

なお、インパクトドライバー作業に参加した生徒たちは各自楽しんでいたと思われる。

<里山参加会員>

杉山、小嶋、（生徒達） 内藤 小澤邦、小沼、牛島、（柳川、鈴木）

<活動写真>

2/26 太田ヶ谷で伐採



3/4 ベンチ部品の製作



3/4 ベンチ部品の加工、塗装



3/8 西中生と共にベンチ設置の作業実施



一本松 7 号公園にベンチ設置完了

記念写真

